

兼六園の雪吊りについて

特別名勝「兼六園」では、雪害から樹木を守るため毎年雪吊りを実施しています。この雪吊りは、北陸の冬の風物詩となっており、今年も下記のとおり実施します。

記

1 作業開始日時 11月1日(水) 午前9時から

2 作業開始樹木

からさきのまつ
「唐崎松」

園内随一の枝ぶりを誇るこの松は、5本の芯柱が立てられ、総数約800本の縄で枝を吊ります。

なお、当日雨天の場合は、樹高の低い木から作業を開始します。

その場合、唐崎松の雪吊りは11月2日(木)8時を予定(雨天順延有)しています。

3 兼六園雪吊りの概要

(1)種類と本数

- ・リンゴ吊り 53本 (唐崎松、すごも巢籠り松ほか)
- ・幹吊り 59本 (根上松、播州松ほか)
- ・その他 約700箇所 (ツツジほか)

(2)使用材料等

- ・わら縄 約4,000kg(径6mm及び8mmの2種類を使用)
- ・芯柱 アテ丸太、真竹

(3)延べ作業人数 約500人

11月1日(庭師7名、造園業者6名)

(4)作業終了時期 12月中旬(予定)